

令和元年度 第1回古賀市国民健康保険運営協議会議事録

【会議の名称】 令和元年度第1回古賀市国民健康保険運営協議会

【日時・場所】 令和元年6月21日（金） 19:00～19:40
古賀市役所 中会議室

【主な議題】 (1) 平成31年度予算について

【傍聴者数】 0人

【出席委員】 渡信人会長、三輪朋之会長代理、塩津美都子委員、淀川治委員、
芝尾郁恵委員、堤啓委員、鐘ヶ江勝委員
(欠席委員：野田廣子委員、矢野洋子委員)

【事務局】 市民部長（清水）、
市民国保課長（坂井）、国保係長（長野）、国保係（阿部）、
予防健診課長（長崎）、健診指導係長（吉田）
(庶務担当部署：市民国保課)

【配布資料】

- ① 会議資料（平成31年度予算について等）
- ② 資料1（平成31年度古賀市住民健診実績・申込者数）
- ③ 資料2（特定保健指導実施率経年一覧）

【会議の内容】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 職員の紹介
4. 議事

(1) 平成31年度予算について

(資料説明：国保係長)

- 堤委員 退職分が減っているようであるが、どういうことか。
- 国保係長 退職者医療制度が廃止されるため。

(2) その他

- ・オンライン資格確認について
- ・保険証と高齢受給者証の一体化について
(資料説明：国保係長)
 - 堤委員 特定疾患の医療証も一体化となるのか。
 - 国保係長 特定疾患は今までどおり別の証になる。
 - 芝尾委員 マイナンバーカードの普及率は。
 - 市民国保課長 正確な資料はないが1割程度である。
 - 芝尾委員 早急にマイナンバーカードを普及させる必要があるのか。保険証はどうなるのか。
 - 国保係長 現状の保険証も利用可能であり、マイナンバーカードでも受診できるようになるという制度である。
 - 市民国保課長 国全体でマイナンバーカードの普及率向上を目指した取組の一環でもあり、便利になるということである。
 - 堤委員 マイナンバーカードの取扱いは厳格にしなければならないと思うが、大丈夫であるのか。
 - 市民国保課長 今聞いている情報によると、医療機関の受付にはマイナンバーカードを渡さずに、自分で機器に通して、受付で資格情報を確認するということである。
 - 渡会長 国民健康保険等から社会保険等の保険の切替はマイナンバーカードを持っていれば、タイムリーに行うことができるのか。
 - 国保係長 情報を集約する支払基金・国保中央会には、保険切替の情報が速やかに伝わるのではないかと考えるが、国民健康保険には情報がつながっていないので、今までど

おり国民健康保険担当窓口での保険切替の届出が必要である。

- 三輪委員 すべての医療機関でマイナンバーカードが利用できるのか。
- 市民国保課長 医療機関でも対応する機器が必要になるので、国としても補助等により普及させていくと聞いている。
- 堤委員 レセプトのシステムやパソコンは5年程度で更新が必要になるので大変である。

・特定健診・保健指導について

(資料説明：健診指導係長)

- 堤委員 集団健診のレディースデイはどの程度女性スタッフが対応するのか。
- 健診指導係長 運転手や事務に若干男性スタッフもいるが、マンモグラフィー以外の血液検査の採血等も基本女性スタッフが対応する。
- 渡会長 特定健診は地域でも行っているようだが、受診率は上がっているのか。
- 予防健診課長 平成29年度までは徐々に上がっていたが、平成30年度は横ばいかやや下がる見込みである。
- 芝尾委員 受診率の地域差が以前はあったが、現在はどうなっているのか。
- 予防健診課長 最近は、以前受診率が低かった小野校区や青柳校区の受診率も上昇傾向にあり、地域差は縮まっている。

・議事録署名委員の指名

- 渡会長 議事録の署名は、三輪委員にお願いする。

5. 閉会